

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

11月中旬、軽井沢プリンスホテルウエストで開催された長野県ソフトボール協会納会に参加する。開始時間まで時間的余裕や他の市

町村の街並に興味を持ち往復を高速道ではなく一般道で旅する。トンネルに進入すると極端にスピードを落とす車、60km制限の追い越し禁止道路を時速30km以下で走行する車、赤信号でも交差点に進入する車、横道から一旦停止しないで本線に進

## 高齢化社会での自動車運転免許証の所持の課題を地域全体で考えてみませんか

として、75歳以上の免許更新時に認知症機能検査で1分間の「認知症の恐れがある」と判断され、交通違反をし、医師が認知症と診断すると免許が取り消される。現在の状況に甘さがあるとの指摘を受け

て、来年3月施行の改正道交法で更に基準を厳格化させた。免許証返納の話題では、自身を考えた時、免許返納した後の生活が成り立つのか考えてしまう。

原の風だより」に、日本農業新聞が掲載したテレビ人気番組「笑点」の珍回答の紹介。「18歳と81歳の違いは」との題に、「こころがもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳」、「恋におぼれるのが18歳、風

通れない人生。だからこそ高齢者が幸せに、笑顔あふれる生活ができる地域が、益々求められるのだろう。訪れた軽井沢のショッピングモールやホテルは、中国や台湾のお客様で大混雑。家

入する車に度々遭遇する。特に最近、高齢者の自動車運転による死亡事故が相次いでいる。15年末に運転免許を保有している65歳以上の高齢者は約1710万人。警察庁は認知症に重点を置いた対策

友人が発行する「高現象は、誰もが避けて

千歳市に中国人富裕層向けに販売した別荘は、完成前に完売で話題だが、軽井沢も、西武ホールディングスが海外の富裕層に販売を開始、軌道に乗れば他の地域でも検討との情報。大北地域でも、今



外国人旅行者で大混雑するホテルフロント、スタッフの機敏な対応で不満の声が聞こえてこない

後海外から不動産として、今以上注目された場合の地域の在り方の論議が求められていくのだろう。宿泊は、敷地約110万坪の中にあるコテージを体験。森の中の生活と、素晴

らしい施設内容にさすが世界の軽井沢と感じる事ができた旅でもあった。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)